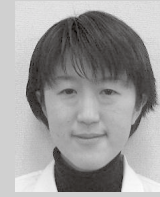




コメディカル (co-medical) とは、医師とともに力をあわせて医療を行う医療技術者の総称です。

ご存知
ですか？

言語聴覚士



言語聴覚士
三谷 尚子

私たちは家族や友人、仕事仲間などと様々なコミュニケーションを取りながら生活しています。当たり前のことなので、普段はその有難さを余り意識しませんが、病気や怪我などにより、この当たり前のことが困難になってしまう場合があります。

会話を成立させるには、大まかに

- ①相手の言葉を聞き取り、
- ②内容を理解し、
- ③伝えたい内容に即した単語や文を想起し、
- ④その通りに発音する

という作業が必要で、脳、舌や喉、耳などが関与しています。

この過程のどこかで問題を生じ、コミュニケーションに支障をきたした場合には、評価やリハビリテーションを担当するのが**言語聴覚士 (Speech Therapist: ST)**で、従来、失語症、構音障害、音声障害、高次脳機能障害、聴覚障害、吃音などに携わってきました。

また、発音に使われる器官は、食べ物を飲み込むのに使う器官とその多くが重なります。そのため、今日ではSTが嚥下障害も担当することが一般的となりました。

(一日の仕事の流れ)

8:30~

耳鼻科外来にて聴力検査

音の聴こえ、ことばの聞き取りなどを測定します。

12:00頃~

病棟にて食事の観察/介助

誤嚥が心配される患者様の食事の様子を拝見し、姿勢や食形態などを検討します。

耳鼻科外来終了後~

耳鼻科ST室あるいは病棟にて言語/嚥下訓練

入院患者様の言語/嚥下機能評価やリハビリテーションを行います。

